

(2) 将来都市構造について

川越駅西口周辺地区に望まれる将来都市構造としては、三駅が強固に連携して一体のエリアを形成し、それらが川越駅東口の商業集積地や、文化・歴史集積地への出入り口として機能することです。それに加え、西部地域振興ふれあい拠点施設（仮称）、市有地、県川越地方庁舎敷地の3箇所を拠点として位置づけ、これら拠点の相互連携を高めるとともに、都市計画道路を軸とした三駅周辺の地区との道路ネットワークや歩行者ネットワーク、広域交通網を通じた広域アクセスの確保を図ります。

〔将来構造イメージ〕

